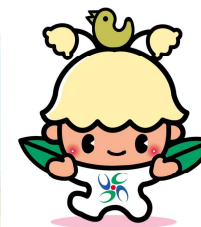


外観コンセプト



子どもたちの自発的で自由な学びの仕組み

- 大きく張り出したバルコニーは雨の日でも子どもたちの運動を妨げることなく遊ぶことができ、運動会などのイベント時には観覧席としても利用することができます。
- 子ども達が大好きな、隠れ家（あなぐら）スペースを図書コーナーに。時にはお友達と一緒に読書をしたり、時にはリラックスしてくつろげる場所になります。

すべての利用者がアクセスしやすい仕組み

- 全ての利用者に配慮したユニバーサルデザインを取り入れます。
- 建物全面にバルコニーをまわすことでメンテナンスのしやすさを考慮しながら、駐車場から雨に濡れずに建物内に入る動線を確保します。
- 駐車場と管理搬入用の車の進入口を分けることで、利用効率の向上と安全性に配慮します。

職員みんなで子どもたちを見守る仕組み

- 職員室、事務室を建物の中心にすることで、管理しながら効率よくみんなで子どもたちを見守ることができます。
- 浸水対策として敷地内に砂や土砂が流れにくい備えを設けます。

賑わいがまちに溢れ出す仕組み

- 運動会が開催できる大きな園庭は、子どもたちが自分たちの拠点としての意識を持つことができます。
- 建物全体を明るく開放的な空間とすることで、子どもたちの元気が自然とまちに溢れ出します。
- セキュリティラインを形成しつつ開放的なエントランスを演出することでまちとのつながりをつくります。

内観デザイン

こども園

日常から自然を感じとれるように、積極的に室内の木質化を図ります。



遊戯室



1・2歳児保育室

こども家庭センター

親子で利用しやすい賑わいが溢れ出す拠点づくりを心がけます。



プレイルーム